

【授業計画案：若松区】

対 象 校	リーダー校：ひびきの小学校（通常の学級と特別支援学級） 交流先校：小池特別支援学校（小学部）
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州発祥の障害者スポーツ「風船バレーボール」の普及 ・新設校の子どもたちのつながりづくり
教育課程上の整理	総合的な学習の時間 体育 図画工作（通常の学級のみ）
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 4 月に開校予定のひびきの小学校に「風船バレーボール」を普及し、障害者スポーツの更なる発展に資する。 ・新しい学校で学ぶ同年齢の児童と近隣の特別支援学校の同年齢児童が交流することにより、相互的・発展的な交流につなげる。
め あ て	<p>《第 1 回目》 「障害者スポーツ」や「パラリンピック」って何？ 北九州市発祥の「風船バレーボール」ってどんなスポーツ？</p> <p>《第 2 回目》 「風船バレーボール」で遊ぼう！</p> <p>《第 3・4 回目》 「特別支援学級風船バレーボール大会」を応援しよう！</p>
展 開	<p>《第 1 回目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市には、「風船バレーボール」の普及団体「やまびこの会」がある。当該団体の方をお招きして、障害者スポーツの一つとして「風船バレーボール」について紹介いただく。 ・本市で発祥した障害者スポーツに対する「シビックプライド」の醸成につなげる。 ・実際に「風船バレーボール」に挑戦してみる。 <p>《第 2 回目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風船バレーボール」を一緒に行うことで、連帯感を高める。 <p>《第 3 回目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級の子どもたちに特別支援学級の友達が「特別支援学級風船バレーボール大会」に出場することを伝え、会場に飾ることのできる横断幕かメッセージボード（案）を作ることを提案し、児童からのアイデアや思いを尊重しながら形作っていく。 <p>《第 4 回目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別支援学級風船バレーボール大会」に出場する友達のために作った横断幕やメッセージボード（案）を大会前の全校集会の場で渡し、激励する。 ・「風船バレーボール」を共に行うことで気付いたことや学んだことを全校児童の前で発表する（代表者 1 名ずつ）。
成果の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの変容について、各学校の HP にて公表する（個人情報に注意）。 ・「全校集会」等で発表する機会を設ける。